

單位數(2)

• 文 • 理)

・ 選択)

学習の目標					使用する主な教材				
○近代以降の様々な文章を読み、その表現に即して的確に理解する力を伸ばすとともに、様々なものの見方や感じ方に触れ、自らのものの見方・感じ方・考え方を深める。 ○進んで読書することによって国語力の向上を図り、自分の考えを適切に表現する能力を高めるとともに、人生を豊かにしていこうとする意欲を持つ。					・教科書　現代文B（数研出版） ・問題集　新成現代文（尚文出版）				
					評価の観点 ①関心・意欲・態度　②話す・聞く能力 ③書く能力　④読む能力　⑤知識・理解				
期	月	単元	教材	主な単元の目標と具体的学習内容	主な評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
1	4	随想的な文章を味わい、論理的に筆者の考えを捉える。	評論（一） 国境を越える言葉	・筆者の繊細な文章表現に注意して、筆者の主張を読み取る。	○			◎	○
	5								
		描写を的確に捉え、表現を味わう。	小説（一） 山月記	・登場人物の性格、行動を的確に捉え、その表現を味わう。	○			◎	○
	6	論理的な文章を読み味わう。	評論（二） 「内的成長」社会へ	・文の読解を通して、論理展開を丁寧にたどる能力を養う。	○			◎	○
	7	詩に描かれた世界を味わう。	詩 永訣の朝等	・表現の特色を捉え、主題を理解させ、鑑賞文にまとめる	○	◎			○
2	8	要旨を的確に捉える。	評論（三） 科学・技術の歴史の中での社会	・科学・技術と社会との関わりの変遷に注意し、筆者の見解を正しく読み取らせる。	○			◎	○
	9								
		状況・人物等を丁寧に読解して捉える。	小説（二） 無用の人	・登場人物の心情を把握し、行動や内面の変化を意識させる。	○		◎		○
	10	専門的な文章を味わい、筆者の主張を捉える。	評論（三） 疑似群衆の時代	・多角的な視点から考えることの重要性を意識させる。	○			◎	○
	11								
		長編小説を味わい、「読む」意義を捉える。	小説（三） こころ	・登場人物の性格、行動、心理について読み取り、小説の世界を味わい、感想を文章にまとめさせる。	○			◎	○
12									

期	月	単元	教材	主な単元の目標と具体的学習内容	主な評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
3	1	批評することを通して、自分の考えを深める。	評論(四) 「手」の言葉	・丁寧に読解することで、筆者の思考を捉え、自己との考えの違いを比較させる。	○		◎		○
	2		小説(四) 果汁	・工夫された表現と作品世界の関係について考えさせる。	○			◎	○
	3								
評価の方法		①関心・意欲・態度 国語を用いて伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上をはかろうとしている。 ②話す・聞く能力 目的や場に応じて効果的に話しの確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 ③書く能力 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 ④読む能力 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 ⑤知識・理解 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 ①～⑤の観点に基づいて、授業や課題への取り組みやその成果物、定期考査等を総合的に判断する。							